ソフトガイド ゲーム GAME

ポストポケモンはカードゲーム!?

文／野安ゆきお　久保ヒトシ（ターニング・ポインツ）

間違いだらけのゲーム選び カード交換で"友達"を増やせ！

ライターN　今月はカードゲームについてです。

Oデスク　おうっ、プロ野球チップスだろ。長嶋が欲しいのに柴田とか高田ばっかり出んだよな。あと王も2枚持ってた。

S記者　出てくる選手がまた古いですね。

ライターN　本物のカードではなくて、ゲームの中でカードを集め、そのカードで対戦したりするソフトが子供たちに大人気なんですよ。

Oデスク　テレビゲームでカード集め？　変だな。子供がテレビゲームをするのは、『インベーダー』も『テトリス』も放課後、校庭でできないからだろ。カードを見せあったり、交換するんなら、校庭でもできるじゃん。砂場とかで。

ライターN　カードを集める過程がRPGみたいで一人で遊んでも楽しいし、同じソフトを持っている子と対戦したり、カードを交換したりして友達の輪が広がるのも楽しい。ほら、ポケモンブームと似ています。

S記者　「収集」して「交換」して「対戦」する。たしかにポケモンに似てるよなぁ。だいぶ前から流行ってるよね。きっかけは何？

ライターN　ピカチュウなどのキャラが描かれたポケモンカードが大人気になったことです。そのブームを『週刊少年ジャンプ』のカードゲームマンガ『遊戯王』が後押しして、ブレイクしました。

Oデスク　あー「ゆーぎおー」ね。風の噂で聞いたことがある。

ライターN　それから『遊戯王デュエルモンスターズ』や『ポケモンカードGB』がゲームソフトとして登場。ヒットしたんです。

Oデスク　でも、子供たちだけの流行だろ。

ライターN　最近は、大人のファンも増えてますよ。なにしろポケモンが生まれた時にこの手のゲームの楽しさにふれた小学生は、そろそろ高校生になってますから。

S記者　そっかー。ポケモンが好きな女子高生も、たくさんいる計算になるよな。

ライターN　『Culdcept EXPANSION』のような、大人が楽しめるゲームも出てきました。カードゲームが好きな女性の数も、どんどん増えているはずです。

S記者　カードの交換や対戦が縁で"友達"になる可能性もあるかもしれませんね。

Oデスク　おっおいっ、オ、オレにも、100枚ほど回してくれ！

ライターN　だから「枚」とかじゃないって。

今月の結論

1. カードゲームが大ブレイクの兆し
2. 手軽に持ち運べるGBに良作ソフト多し
3. オトナが楽しめるソフトも登場しつつある

販売元：コナミ／ゲームボーイ／98年12月17日発売／4300円
『週刊少年ジャンプ』のマンガがゲーム化。子供を中心に大ヒット。

遊戯王　デュエルモンスターズ

今月の★★★ゲーム

『Culdcept EXPANSION』「一家に一本！」の秀作カードゲーム

カードゲームといえば地味でマニアックなイメージが強く、イマイチ面白そうな気がしない人もいるだろう。しかし次にポケモン級のブームを起こすとしたらこのジャンルかもしれない。昨年12月発売のGB（ゲームボーイ）用カードゲーム『遊戯王デュエルモンスターズ』は、小中学生を中心に140万本のヒットを記録。同時期発売の『ポケモンカードGB』も65万本を売り、ポケモンブームの初期のようになっているのだ。

『Culdcept』は、それらカードゲームの中でも飛び抜けた傑作だ。モノポリーとトレーディングカードが合体したようなゲーム。サイコロを振り、スゴロクのような盤上をまわり、止まった土地にカード（モンスター）を配置、その土地にライバルが止まったらお金（魔力）をもらえるというルール。こうして、一定以上のお金を得れば勝利となる。

ゲームのツボは、お金を払うかわりに、自分が所有するカードを出し、モンスター同士を戦わせてもいい点だ。勝てば、その土地を奪うことができる。この駆け引きが面白い。

最初に所有するカードは50枚。ゲームを進めるうちに、手持ちのカードは増えていく。対戦プレイをすれば、カードの奪い合い、あるいは交換も楽しめる。なんともコレクター心がくすぐられる1本なのだ。

土地を奪い合いながら「魔力」をためていくシンプルなルール。どのカードを使用するかに駆け引きの妙がある。

『Culdcept EXPANSION』販売元：メディアファクトリー／プレイステーション／5月1日発売／5800円／無数のカードがコレクター心をくすぐる。

ポケモンカードGB

販売元：任天堂／ゲームボーイ／98年12月18日発売／3500円
ゲームやテレビで大人気のポケモンがカードゲームになった。

N ニンテンドウ64　PS プレイステーション　DC ドリームキャスト　SS セガサターン　PC パソコン　GB ゲームボーイ

今月のお薦め・気になるソフト

お薦め　オメガブースト　PS

新感覚3Dシューティング

オメガブーストと呼ばれるロボットを操って、360度自由自在に空間を飛び回る。スピード感バツグンの3Dシューティングゲームだ。敵の攻撃をかわすときのアクロバティックな動きは、驚異のひとこと。閃光がうねるように飛び交う戦闘シーンも絶品の美しさだ。また、『グランツーリスモ』でおなじみのリプレイ機能付き。自分のプレイをダイナミックな映像で再生できる。

販売元：SCE／5800円／4月22日発売／『グランツーリスモ』の制作スタッフが再び驚異の映像美を産み出した。

お薦め　ポケモンピンボール　GB

ピンボールでポケモンGET！

150匹のポケモンが総登場するピンボールゲームだ。もちろん、ただスコアを叩き出すだけのゲームじゃない。台に現れるポケモンにボールを当てていけば、そのポケモンをゲットできちゃうのだ。集めたポケモンは、おなじみのポケモン図鑑に記録されていく。さまざまなポケモンたちを集めていくという『ポケットモンスター』ならではの楽しさを、バッチリ味わえるのだ。

販売元：任天堂／3800円／4月14日発売／プレイ中に、カートリッジがブルブル震えるのだ。

気になる　サイバーオーグ　PS

近未来サイバーアクション

近未来を舞台に、アメコミタッチで描かれたキャラたちが大暴れする3Dアクションゲームだ。とにかくアクションが超ド派手。パンチ一発で敵をバラバラに吹き飛ばしたり、マシンガンを四方八方に乱射したり、超高速で突っ走ったりと、豪快なアクションが盛りだくさん。迫力満点の戦いを満喫できる。各ステージに隠された仕掛けや罠を解いていくといった謎解きの要素も楽しい。

販売元：スクウェア／5800円／4月22日発売／3人のキャラをチェンジしながら戦う。戦略性の高いバトルを楽しめる。

家庭用ゲームソフトTOP20（3月1日〜3月28日）

順位	タイトル	メーカー	ハード	ジャンル
1位	ファイナルファンタジーⅧ	スクウェア	PS	RPG
2位	ファイナルファンタジーコレクション	スクウェア	PS	RPG
3位	ウンジャマ・ラミー	SCE	PS	アクション
4位	電車でGO！2	タイトー	PS	シミュレーション
5位	SILENT　HILL	コナミ	PS	アドベンチャー
6位	ポケモンスナップ	任天堂	N64	その他
7位	モンスターファーム2	テクモ	PS	シミュレーション
8位	チョコボレーシング	スクウェア	PS	レースゲーム
9位	実況パワフルプロ野球6	コナミ	N64	スポーツ
10位	ニンテンドウオールスター！大乱闘スマッシュブラザーズ	任天堂	N64	アクション
11位	チョコボの不思議なダンジョン　for　ワンダースワン	バンダイ	WS	RPG
12位	ギャロップレーサー3	テクモ	PS	レースゲーム
13位	THE HOUSE OF DEAD2	セガ	DC	シューティング
14位	トゥームレイダー3	エニックス	PS	アクション
15位	ドラゴンクエストモンスターズ〜テリーのワンダーランド〜	エニックス	GB	RPG
16位	TO Heart	アクアプラス	PS	アドベンチャー
17位	ビートマニアGB	コナミ	GB	アクション
18位	GUNPEY（グンペイ）	バンダイ	WS	パズル
19位	COLIN McRAE THE RALLY	スパイク	PS	レースゲーム
20位	サウンドノベル・エボリューション1　弟切草　蘇生編	チュンソフト	PS	アドベンチャー

週刊ファミ通調べ

サルでもハマるゲーム　ベストプレープロ野球

「チョーさん、そこは西山じゃないだろ!?」監督気分が味わえる傑作プロ野球シミュレーション

『ベストプレープロ野球』　販売元：アスキー／Win95・98／9500円／3月12日発売／選手のデータを変更したり、オリジナルの選手を作ることもできる。全盛時のONや落合といった伝説の名選手はもちろん、「山田太郎」や「星飛雄馬」みたいな架空の選手も登場させられるのだ。

パソコンゲームは、マニア以外の人は敬遠しがち。だが、初心者が楽しめるソフトもけっこうあるのだ。『ベストプレープロ野球』はその代表的存在。監督となってペナントレースを戦う、プロ野球シミュレーションゲームだ。

簡単な設定をするだけで、ドンドン試合が進行するので、誰でも気楽にプレイできる。もちろん試合中に細かい指示を出したり、選手を交代したりといった、駆け引きも可能だ。ネットを通じて見知らぬ人との対戦プレイも楽しめる。長嶋采配に疑問を持つ巨人ファンの憂さ晴らし（？）に最適なハズだ。

業界地獄耳

フェイ・ウォンに続けこれからは月9よりゲームとタイアップ？

史上最高のヒット作となった『ファイナルファンタジーⅧ』のCMソングであり、挿入歌でもあるフェイ・ウォンの『Eyes On Me』が20万枚を超えるヒットを記録している。これまで、オタクっぽい雰囲気がつくことを嫌ってか、有力アーティストの曲がゲームとタイアップすることは少なかった。フェイのブレイクを機に、そんな状況は一変しそうだ。

ファミコン時代からの定番シリーズで、5月27日に発売されるDCソフト『首都高バトル』のオープニングムービー曲を歌うのは、Ziggy。「ゲームのイメージとぴったり」というメーカー側からの要請を、「新しいファン開拓につながる」と考えるZiggy側が快諾した。今後も思わぬアーティストがゲームの中で歌うケースは増えそう。タイアップは「月9」よりプレステ、なんて日も来るかも。

5月21日発売のWithout…？フェイ・ウォンに続いてゲームともどもスマッシュヒットになるか。

©1997,1999 Omiya Soft/Music　©1997,1999 Yuzo Koshiro　©1998 Nintendo/Creatures inc./GAME FREAK inc.　協力：メディアファクトリー　©高橋和希／集英社・テレビ朝日・電通・東映アニメーション　©1998 KONAMI（社）日本野球機構、11球場公認　©バリティビット　©ASCII Corp.　©Sony Computer Entertainment Inc. Produced by Polyphony Digital Inc.　©1995,96,98,99 Nintendo/Creatures inc./GAME FREAK inc. 1999 HAL Laboratory,Inc./Jupiter Corp.　©1999 SQUARE/FUZZBOX